



29900-XK5 -K0S0 ミッションクーラーセット

for INTEGRA Type R

取 付 ・ 取 扱 説 明 書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。
以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。
取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

ご 注 意

1. 開梱後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損のないことを確認して下さい。
2. 取り付け前に型式の確認を行って下さい。

〔適応車種〕 I N T E G R A T y p e R D C 5 - 1 0 0 ~

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 無限／営業部

TEL. 048-462-3135 【営業時間 9:00~18:00】

FAX. 048-462-3121

お客様へ

取り付けに際して…

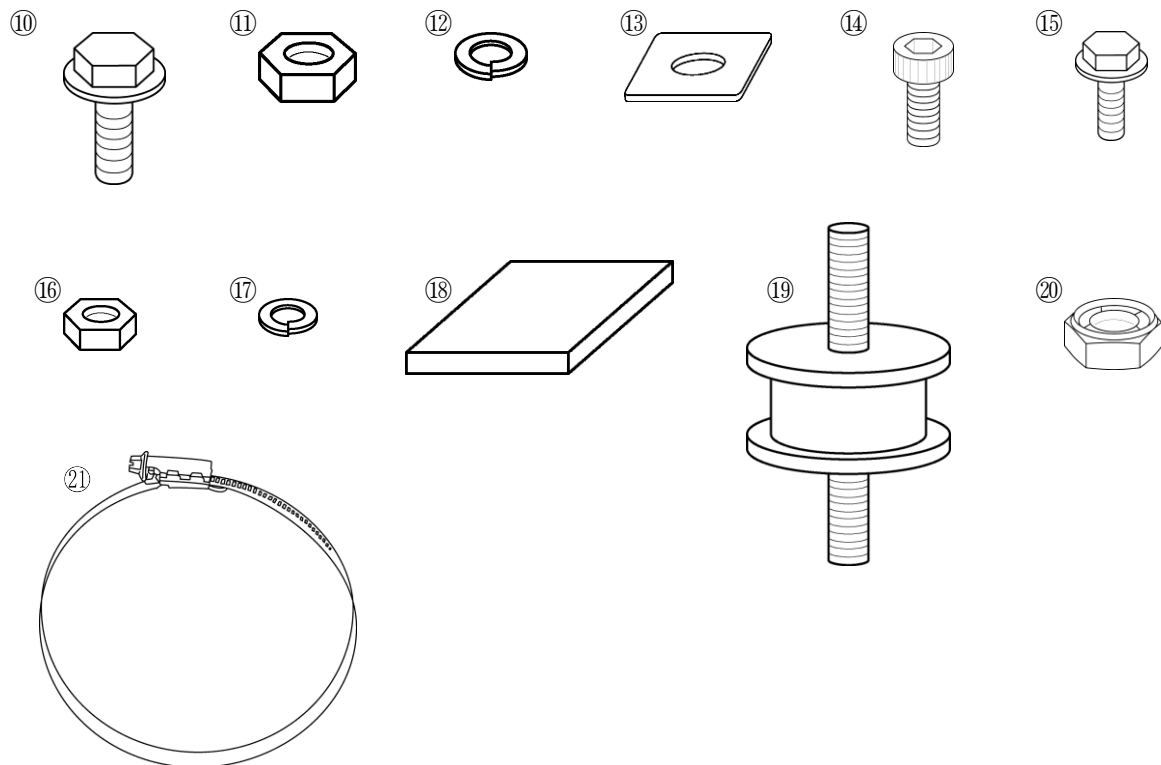
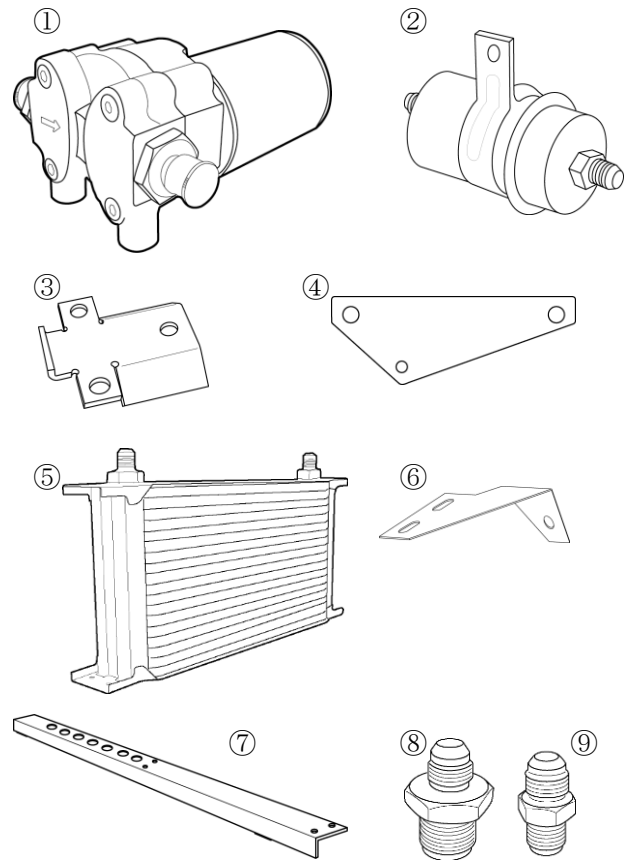
1. エアコンとの同時装着はできません。
2. 本品には別途ミッションクーラーホースセット(品番:29930-XK5-K0S0)が必要です。
3. ポンプ駆動用のワイヤーハーネスは付属しておりません。付属の配線図を参考に各自で製作して下さい。

ご使用に際して…

1. ポンプの過負荷を防止するため冷機時はポンプを作動させないで下さい。
2. 本品はレース用、サーキット用に設計した部品ですので、公道での走行時は取り付け状態、オイル漏れ等に特に注意してください。
3. 本品はトランスミッションオイルの冷却を補助する物であり、その油温を保障する物ではありません。

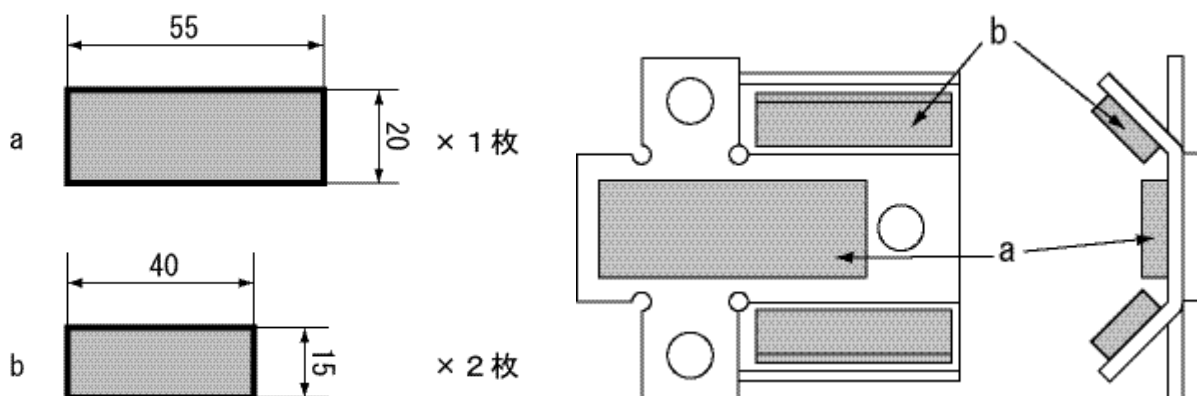
【構成部品表】

No.	PARTS NAME	QTY.
①	オイルポンプ	1
②	オイルフィルター	1
③	ポンプステー	1
④	フィルターステー	1
⑤	オイルクーラー	1
⑥	オイルクーラーステーUPR	1
⑦	オイルクーラーステーLWR	1
⑧	フィッティングマウントOUT	1
⑨	フィッティングマウントIN	1
⑩	フランジボルト M8	2
⑪	ナット M8	2
⑫	スプリングワッシャー φ8	2
⑬	角ワッシャー φ8	2
⑭	キャップボルト M6×15	6
⑮	フランジボルト M6×10	2
⑯	ナット M6	7
⑰	スプリングワッシャー φ6	6
⑱	スペーサー	1
⑲	防振ゴム	3
⑳	Uナット M8	3
㉑	ホースバンド	1

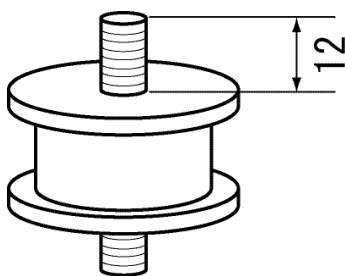


取付方法

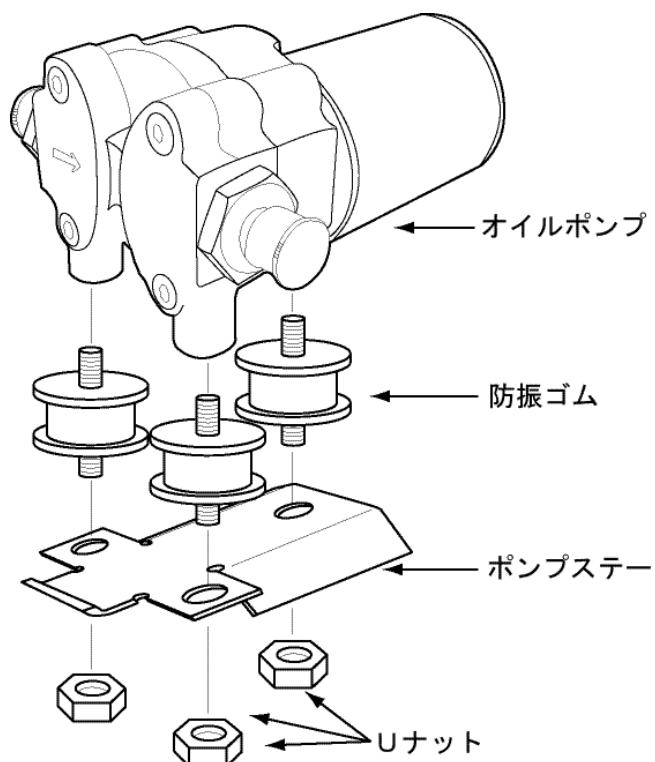
- ① フロントバンパー、バッテリーを外す。
- ② スペーサーを下図の寸法に切り分け、ポンプステーに貼り付ける。



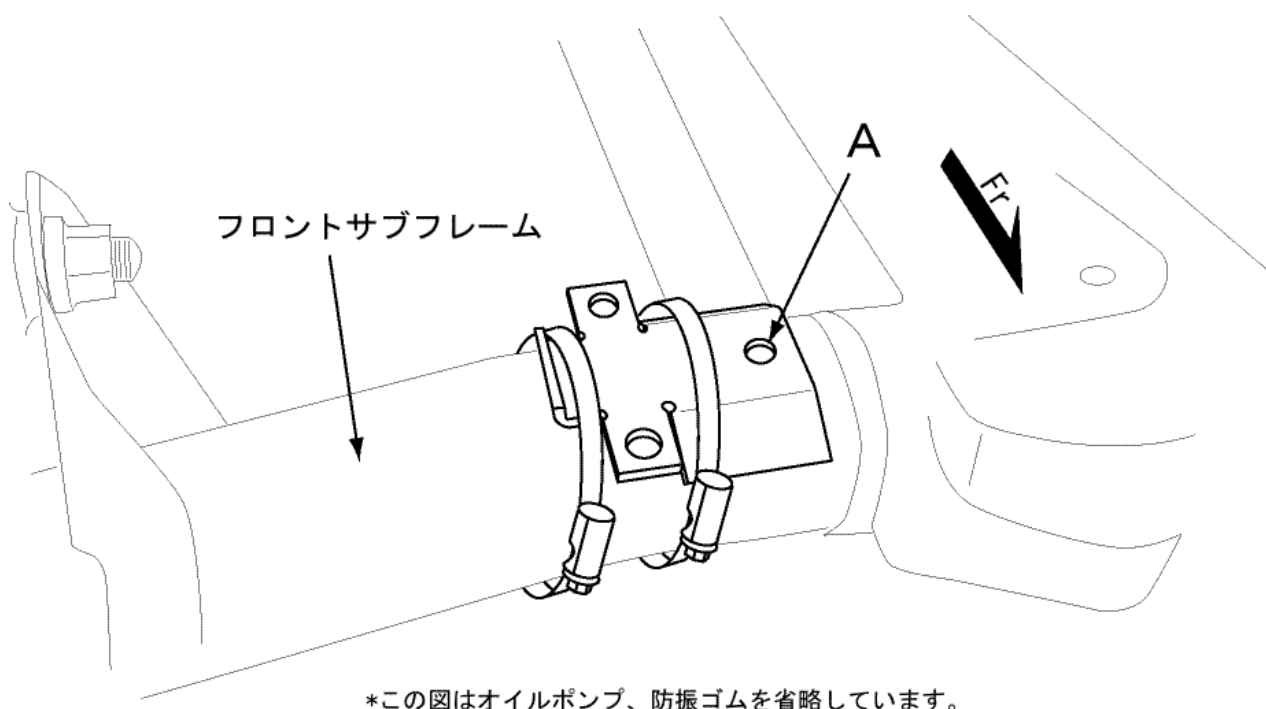
- ③ 防振ゴムのねじ部を上下とも12mmの長さに切り、端面のバリをヤスリ等で落としておく。



- ④ 防振ゴムをポンプに取り付け、ポンプステーをUナットで固定する。

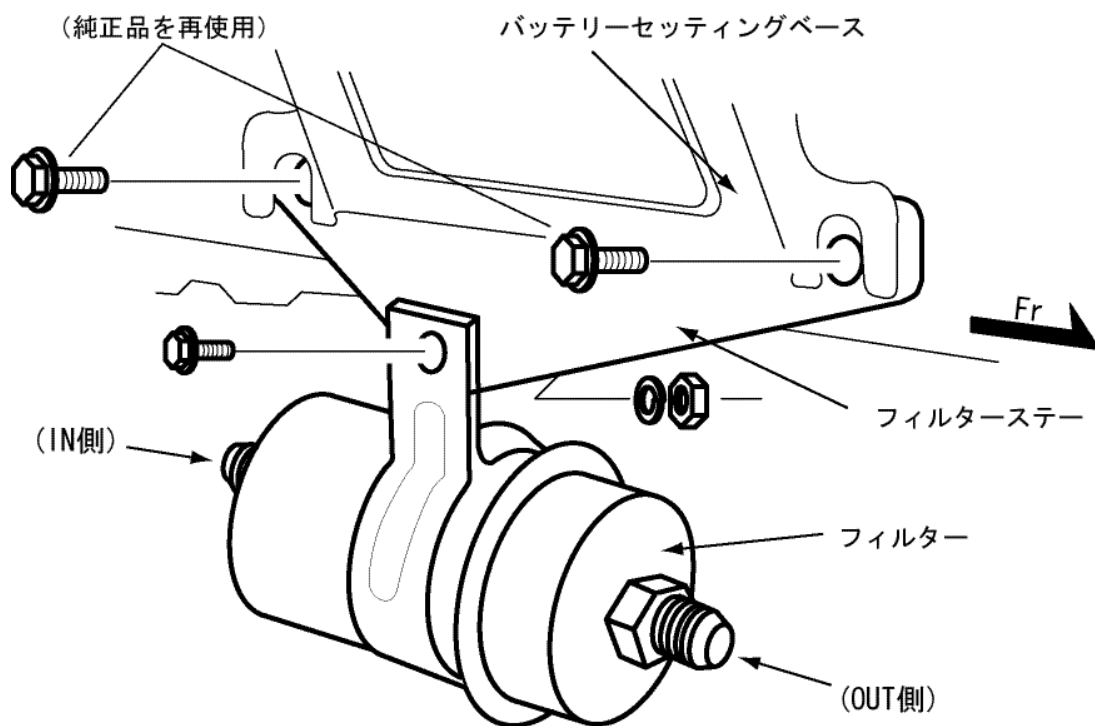


- ⑤ ポンプステーをフロントサブフレームの左側前方の穴(A)に合わせ、ホースバンド2本を用いて下図の位置に固定する。

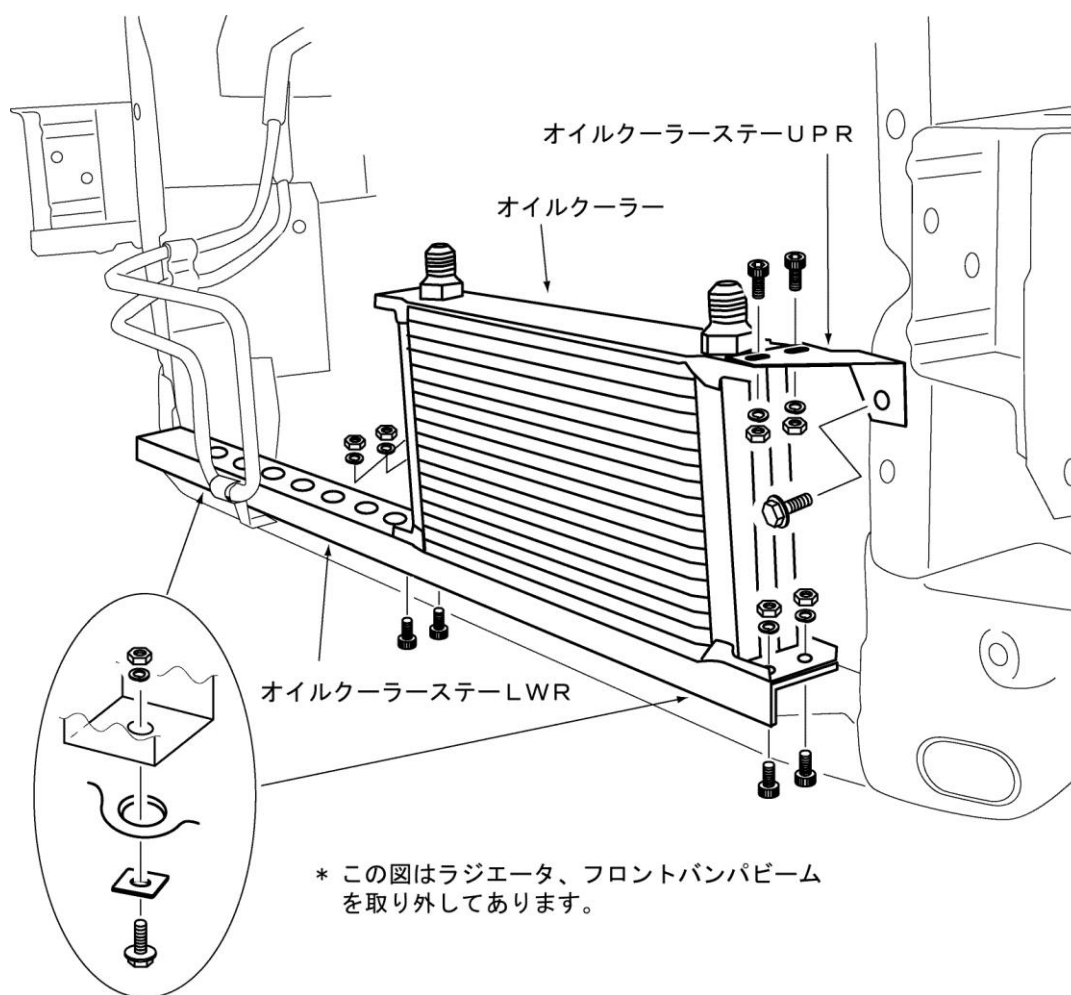


- ⑥ フィルターステーをバッテリーセッティングベースの下側の取り付けボルトに共締めし固定する。
フィルターをフランジボルトM6とスプリングワッシャー、ナットで固定する。

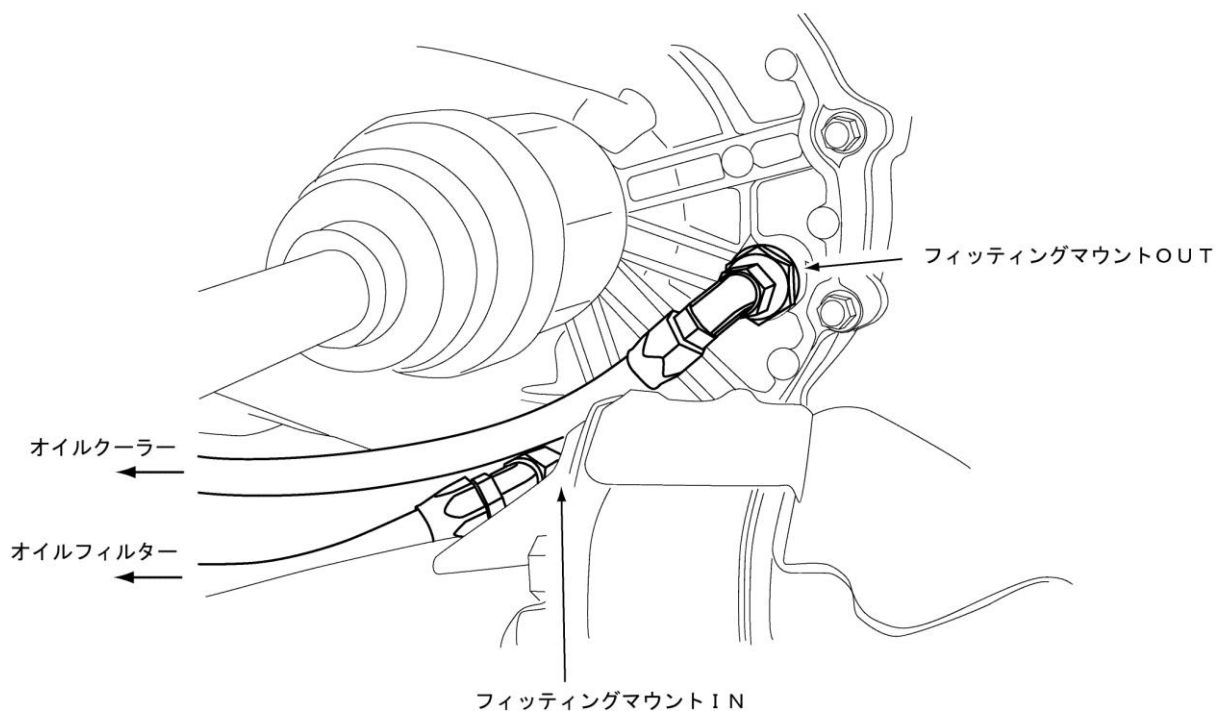
注意: 取り付け時、フィルターのIN側とOUT側を逆に取り付けないこと。



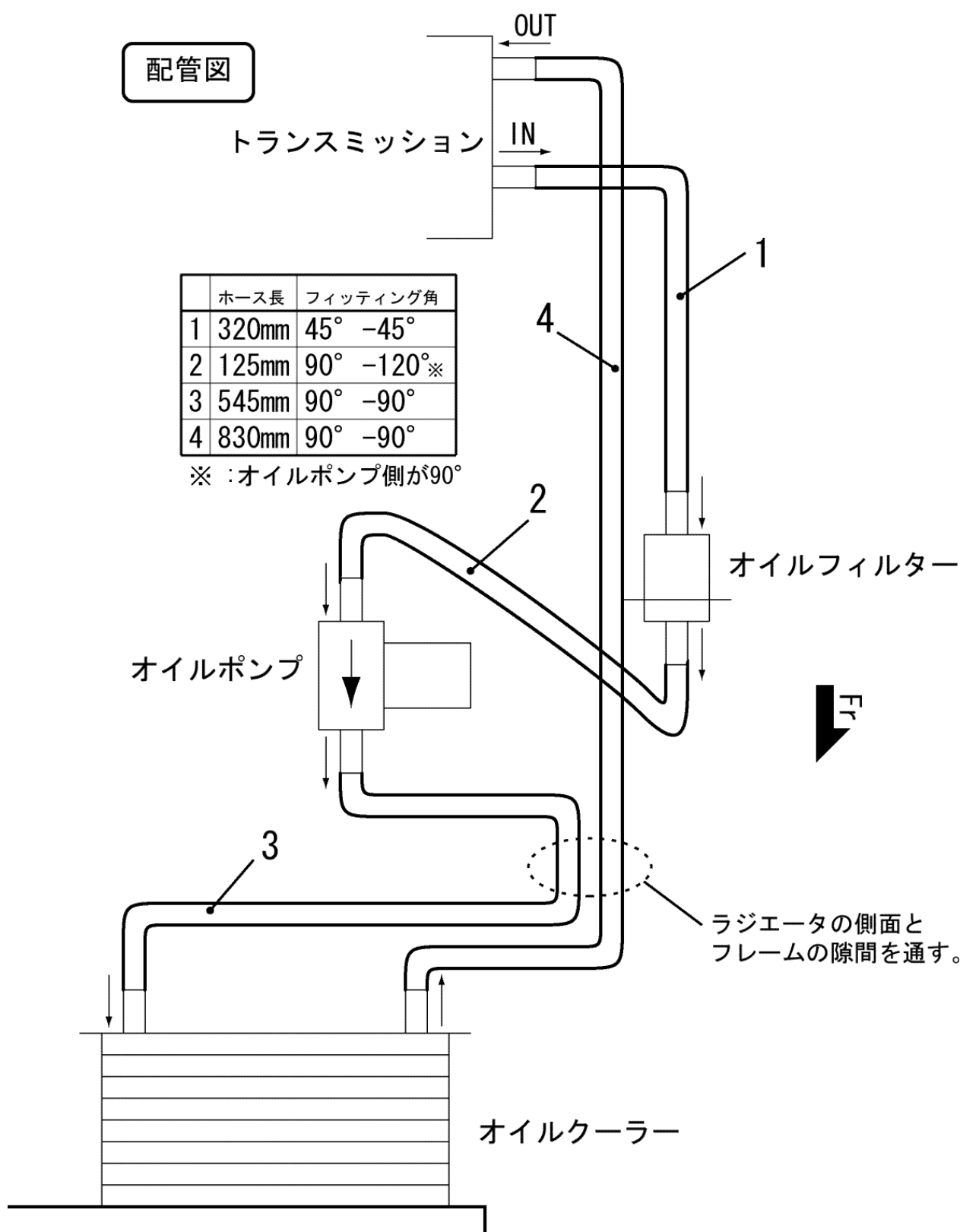
- ⑦ オイルクーラー、オイルクーラーステーUPR、オイルクーラーステーLWRを下図の様に固定する。この時オイルクーラー及びステーがラジエータに接触しないこと。また、取り付け状態によってはL側のホーンに干渉するので公道で使用する場合はホーンの取り付け位置を変更するなどの処置をすること。



- ⑧ トランスミッションのフィラボルトをフィッティングマウントOUTに、ドレンボルトをフィッティングマウントINに各々交換する。ミッションクーラーホースをドライブシャフトに接触しない位置でフィッティングマウントに取り付ける。

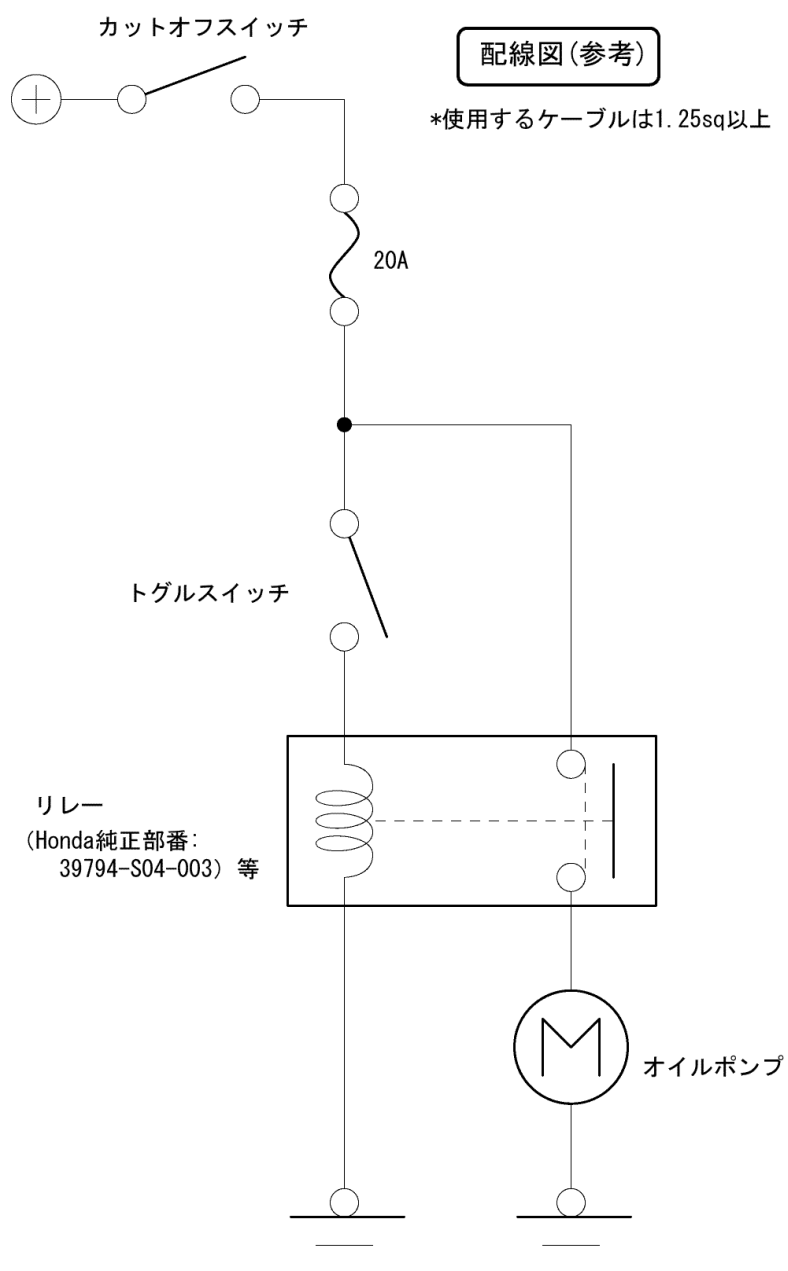


- ⑨ 以下の配管図に従いホースを取り付ける。この時、ホースの遊びが大きい部分、可動部に近い部分、ラジエータやフレーム等に接触する部分などはゴムチューブやビニールテープなどでのホースの保護や、タイラップで固定するなどの処理をすること。



⑩ 以下の配線図を参考にワイヤーハーネスを作成し取り付ける。

注意:公道で使用する場合、電源は走行しないときに OFF になる回路(IG2等)から取ること。



- ⑩ バッテリーを取り付けエンジンを始動しオイルポンプの作動及びオイルの漏れ等を確認する。ポンプを作動させたままエンジンを暖機させ配管内に十分にオイルを行き渡らせた後、エンジンを停止し規定のオイルレベルまで指定されたオイルを注入する。
- ⑪ フロントバンパーを元通り組み付ける。